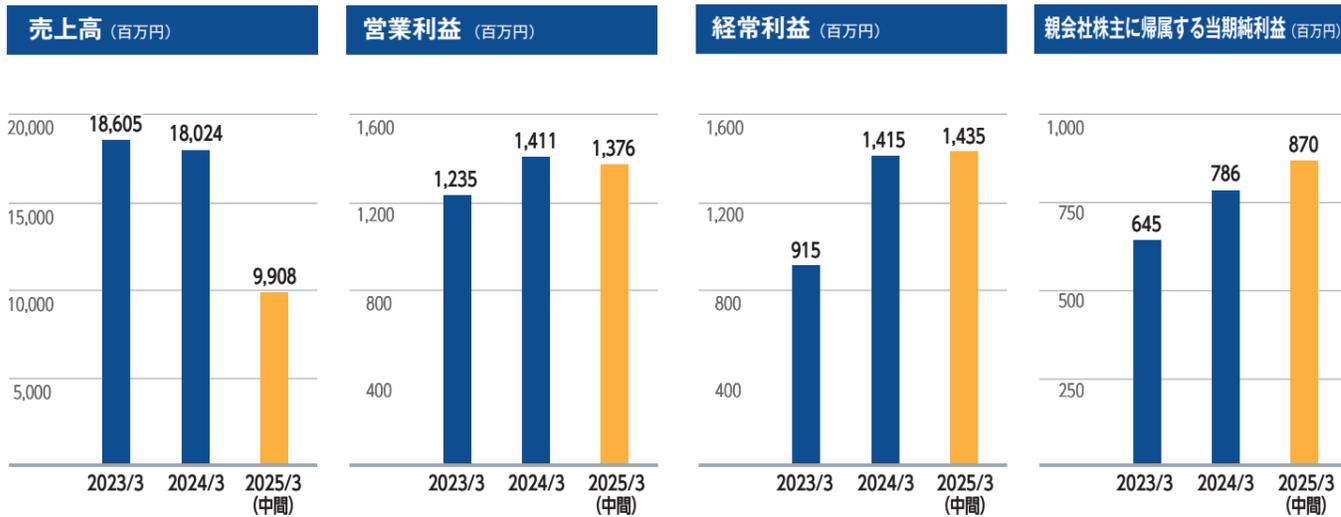


連結財務ハイライト



会社概要 / 株式の状況

会社概要 (2024年9月30日現在)

商号	ヤマシンフィルタ株式会社 (旧 山信工業株式会社) (英文名称 YAMASHIN-FILTER CORP.)
所在地	〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル16階
設立	1956年4月
事業内容	建設機械用フィルタ・産業用フィルタ・プロセス用フィルタ及び関連部品の製造・販売、ナノファイバーの開発・製造・販売
資本金	6,571百万円
代表者名	山崎 敦彦
従業員数	単体: 168名 連結: 754名
認定・取得	ISO9001:2015 (JIS Q 9001:2015) 認証取得 ISO14001:2015 (JIS Q 14001:2015) 認証取得

株主メモ

上場市場	東京証券取引所プライム市場
上場日	2014年10月8日 (東京証券取引所市場第二部)
証券コード	6240
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
基準日	定時株主総会については3月31日
配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel: 0120-288-324 (通話料無料) (受付時間: 土日祝日等を除く 平日午前9時～午後5時) 株式に関するお手続き (みずほ信託銀行) https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
株式の売買単位	100株
公告掲載URL	公告は電子公告により行います。 http://www.yamashin-filter.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 203,580,000株
発行済株式の総数 71,319,799株
株主数 22,328名

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社あさまホールディングス	24,055	33.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,057	9.9
山崎 裕明	2,183	3.0
山崎 敬明	2,085	2.9
株式会社みなとホールディングス	1,800	2.5
山崎 敦彦	1,418	1.9
小村 良	1,275	1.7
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,053	1.4
株式会社けやきホールディングス	900	1.2
株式会社しらかばホールディングス	900	1.2

(注) 持株比率は自己株式312,696株を控除して計算しております。

株式等に関するマイナナンバーお届出のご案内

2016年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きにおいてマイナナンバーの利用が開始されています。
株式等の税務関係の手続きでもマイナナンバーが必要となりますので、株主様のマイナナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出ください。

《上場株式等》をお持ちの株主様	《未上場株式等》をお持ちの株主様
証券会社等にて株式等を管理・購入・取引されている場合には、証券会社等へお届出いただく必要があります。 お手続き方法など詳細につきましては、証券会社等へお問い合わせください。 ※不動産投資信託 (REIT)、ETF、JDR等の国内証券取引所にて取引される株式以外の金融商品も含まれます。	ご所有の株式の発行会社または株主名簿管理人にお届出いただく必要があります。 お手続きの詳細につきましては、株主名簿管理人にお問い合わせください。

マイナナンバーを記載する主な支払調書 * 配当金等に関する支払調書 * 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナナンバー制度とは、国民一人ひとりに配布された番号によって、複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための社会基盤です。
(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律 (平成25年5月31日法律第27号))

マイナナンバーの取扱いについては、法律により厳格な保護措置が設けられており、利用範囲は社会保障・税・災害対策の行政手続きに限定されています。

マイナナンバーの提供について お届出が済んでいない株主様は、下記お問い合わせ先へマイナナンバーのお届出をお願いします。

マイナナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま …お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主さま …下記株主名簿管理人のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

みずほ信託銀行 証券代行部 ☎0120-84-0178



The Specialist in Filtration
YAMASHIN

第70期 中間株主通信

(2024年4月1日～2024年9月30日)



ヤマシンフィルタ株式会社

証券コード: 6240

株主の皆様へ



代表取締役社長執行役員 山崎 敦彦

仕慮過事

ろかじにつかふる

ここに、第70期中間株主通信 (2024年4月1日から2024年9月30日まで) をお届けいたします。

当社は建設機械フィルタの専門メーカーとして70余年に及び実績をもち、建設機械メーカーとともに性能・品質の向上にまい進してまいりました。

昨今におきましては、当社独自のナノファイバー技術を活用した新規事業領域への参入を進めており、エアフィルタ等への提供を開始しております。常に最高品質のフィルタを広く社会に送り出し、フィルタビジネスを通じて社会に貢献するという経営理念のもと、挑戦し続ける企業を目指してまいります。

また、今回新しい中期経営計画を発表いたしました。

引き続き、株主の皆様のご期待に応えるべく努力を続けてまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

2024年12月

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当中間期末 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産	13,487	13,777
固定資産	12,455	12,273
有形固定資産	11,328	11,158
無形固定資産	209	188
投資その他の資産	917	926
資産合計	25,943	26,051

科目	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当中間期末 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債	3,827	3,436
固定負債	816	643
負債合計	4,644	4,080
純資産の部		
株主資本	20,557	21,389
その他の包括利益累計額	742	580
純資産合計	21,299	21,970
負債純資産合計	25,943	26,051

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	前中間期 (2023年9月30日)	当中間期 (2024年9月30日)
売上高	8,709	9,908
売上原価	5,235	5,472
売上総利益	3,473	4,435
販売費及び一般管理費	3,053	3,059
営業利益	420	1,376
営業外収益	52	83
営業外費用	56	24
経常利益	417	1,435
特別利益	—	99
特別損失	67	154
税金等調整前中間純利益	349	1,379
法人税等	123	509
中間純利益	226	870
親会社株主に帰属する中間純利益	226	870

Q1 2025年中間期(当中間期)の業績と取り組みについてお聞かせください。

A1 当社グループの主力事業である建機用フィルタ事業におきましては、北米、アジア、欧州、日本における建機の新車需要は前期を下回ったものの、交換需要は大幅に増加いたしました。一方、中国市場では、市況の低迷が継続し需要は減少いたしました。この結果、当中間期における当社の売上高は、全体では大幅な増収となりました。利益面におきましては、建機用フィルタの交換需要の増加に伴う補給品売上高の増加に加え、主要原材料価格やエネルギーコスト高騰への対応策として、原価低減の取り組みや販売価格の改善効果により大幅な増益となりました。

当社グループは、環境負荷低減に貢献するナノファイバーを使用したロングライフのフィルタ製品や油の汚染度・フィルタの交換時期を感知する差圧センサを搭載した高付加価値フィルタ製品の主要得意先への提案を進めており、各建機メーカーの新機種への製品供給が随時開始されております。また、カーボンニュートラルへの取り組みの一環として、バイオマス樹脂を用いたナノファイバー開発やリサイクル素材を活用したる材の開発を推進しております。

そして、原材料価格やエネルギーコスト等の高騰に対する販売価格の改善に努めるとともに、当社のさらなる競争力を強化するための原価改善の取り組みとして、プロジェクト「PAC24」の推進に加え、設計開発段階での機能や材料の見直し、生産プロセスの効率化、品質管理の強化等による製造コストの削減に取り組み、利益の改善に努めてまいります。加えて、グローバル生産供給体制とサプライチェーンの再構築により、原材料調達の安定化と物流コストの低減を実現することで、外部環境変化やリスクへの適応力の強化を図り、資本効率のさらなる改善と収益性の拡大に努めてまいります。

エアフィルタ事業におきましては、主力製品であるビル空調用フィルタの納期調整の影響等により減収減益となりました。当社グループは、ロングライフ、低圧損、高捕集率のナノファイバー製エアフィルタ NanoWHELP(ナノウェルプ)の供給を開始し、オフィスビルや商業施設、ホテル、病院、工場等への採用が進展しております。NanoWHELPは、自社調べによりますと他社製エアフィルタに比べ、年間で約30%近いCO₂の削減効果と光熱費低減効果が期待できる製品であることから、ビル用空調システム市場を中心に今後大きく成長することが見込まれます。また、NanoWHELPは、権威あるアメリカ暖房冷凍空調学会(ASHRAE)の定めるエアフィルタの性能等級MERV(最高性能等級16)において、国内では唯一MERV14・15・16の3つの等級を取得しており、今後国内市場のみならず、欧米をはじめ海外市場の開拓にも積極的に取り組んでまいります。加えて、NanoWHELP開発の技術を生かし、熱可塑性高分子系不織布によるナノファイバーHEPAフィルタ(商標名:Yamashin Nano Air)の開発に取り組んでおります。従来のガラス繊維HEPAフィルタとは異なり、発がん性リスクが問われる有機フッ素化合物PFASを使用しないPFASフリー製品であり、健康や環境被害を排除するための規制の強化が

EUから各国に広がるなか、当社事業の新たな成長の牽引役として期待されております。

さらには、新たな市場開拓の取り組みとして、Yamashin Nano Filterの新規事業領域における製品開発を継続しております。

今後も当社グループは、総合フィルタメーカーとして「環境」「空気」「健康」をテーマに持続可能な社会・経済活動に貢献する企業として社会的責任を果たしてまいります。

これら取り組みの結果、当中間期の売上高は99億8百万円(前年同期比13.8%増)となり、営業利益は13億76百万円(同227.1%増)、経常利益は14億35百万円(同243.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は8億70百万円(同285.0%増)となりました。

Q2 2025年3月期(通期)の業績予想と取り組みについてお聞かせください。

A2 建機用フィルタ事業におきましては、通期の業績見通しを公表した2024年5月15日時点と比較し、当中間期において、新車需要が前年度を下回る見通しである一方、交換需要の増加により補給品売上高の大幅な増加が見込まれます。そのため、売上高は前回公表数値を上回る見通しであります。一方、利益面は、販売価格の改善や、原材料価格やエネルギーコストの高騰といった外部環境変化によるコスト増加に対しての原価低減活動の効果により営業利益は前回公表値を大幅に上回る見通しであります。

エアフィルタ事業におきましては、前回公表値を据え置いております。これらの結果、通期の業績は、売上高193億円(前期比7.1%増)、営業利益22億20百万円(同57.3%増)、経常利益22億80百万円(同61.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益14億90百万円(同89.4%増)を予想しています。

今後、市場環境の変化が業績等に影響を与える場合には速やかに開示いたします。

Q3 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A3 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けた上で、財務体質の強化と今後の事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記の基本方針ならびに当社を取り巻く経営環境等を総合的に勘案し、中間配当については1株につき5円とすることとし、期末配当予想については前回予想より2円増額し、1株につき7円に修正いたします。これにより年間の配当予想は12円となり、前期と比較した場合6円の増配となる予定です。また、連結配当性向は57.2%となります。

株主の皆様には今後とも末永いご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

ESGの取り組み 第5回

「サステナビリティレポート2024」を発行しました

当社は、この度「サステナビリティレポート2024」を発行いたしました。当社グループのサステナビリティの推進体制、マテリアリティ(重点課題)、数値目標や各種取り組みを掲載しています。ぜひご覧ください。

今後も当社は、長期的持続的な企業価値向上に向けた取り組みを強化するとともに、総合フィルタメーカーとして「環境」「空気」「健康」をテーマに持続可能な社会・経済活動に貢献する企業としての社会的責任を果たしていく所存です。

サステナビリティページ

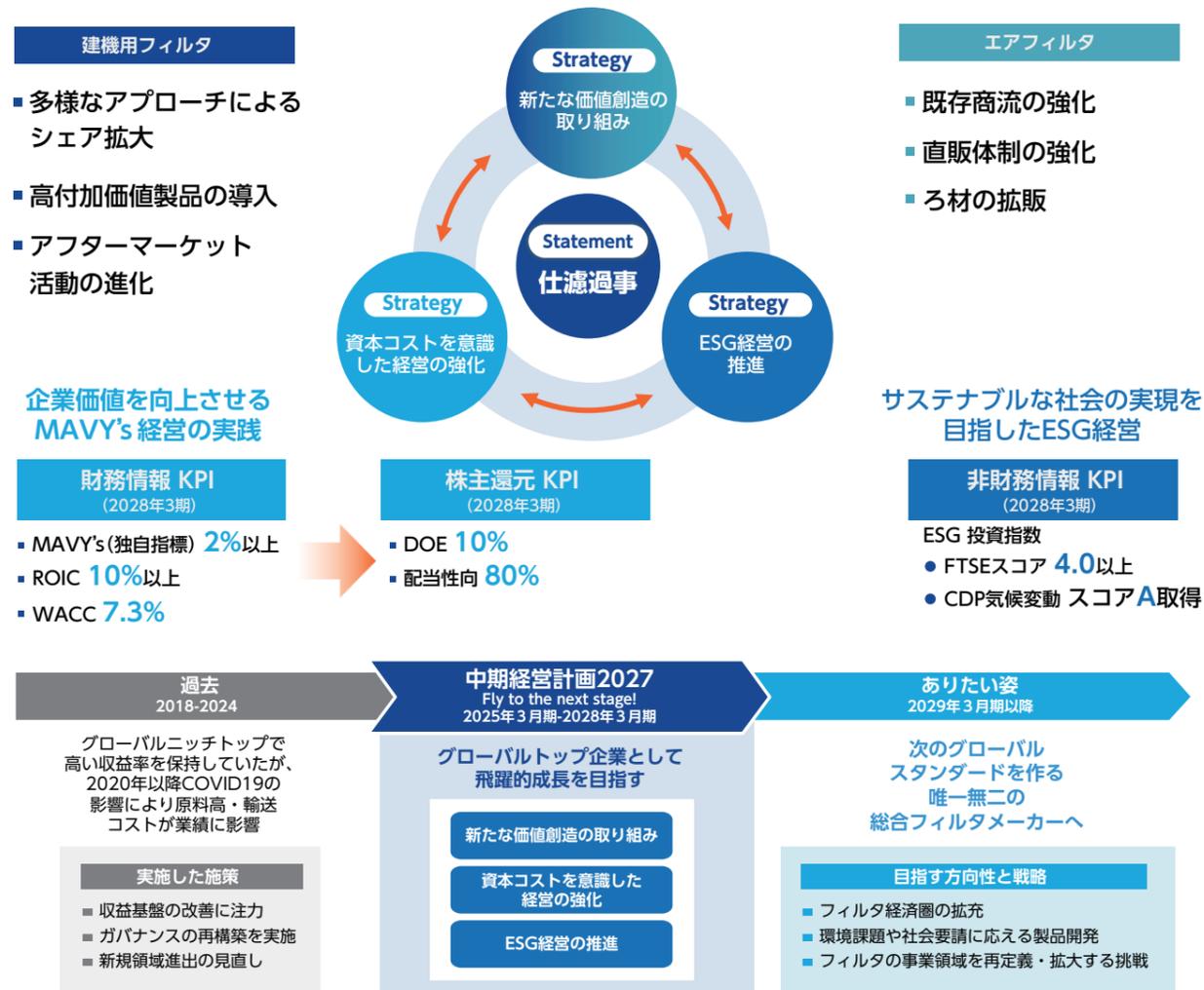
<https://www.yamashin-filter.co.jp/ja/sustainability.html>



中期経営計画

2024年11月14日に中期経営計画を開示しました

「仕濾過事」を具現化し、新たなステージへ



News & Topics

ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に昨年に続き選定されました

ヤマシンフィルタは、この度「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に昨年に引き続き選定されました。グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築された本インデックスは、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラル*1となるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコア*2により改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

本インデックスは、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)のESG投資におけるパッシブ運用ベンチマークとして採用されています。

*1 業種の偏りが発生することを避けるため、親インデックスである FTSE Japan All Cap Index の業種比率を考慮し構成銘柄を選定。
*2 低炭素経済を推進するために 2017 年に設立されたイニシアチブ「Transition Pathway Initiative (TPI)」が、企業の温室効果ガス排出量および低炭素への移行に関連するリスクと機会の管理の質を評価したものを。